

安全上のご注意

- 取付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ取付け工事をしてください。
- ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。
- ▲警告……誤った取扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
- ▲注意……誤った取扱いをした時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
- 取付け工事完了後、試運転をおこない異常がないことを確認してください。また、この「工事説明書」は、「取扱説明書」と共に保管してください。

警告

- 取付け工事は、この取付け工事説明書に従って確実にこなしてください。取付けに不備があると、落下、水漏れやケガ、感電、火災の原因になります。
- エアコンを取付ける場所は重量に充分耐える所に確実にこなしてください。強度不足や取付けが不完全な場合は、エアコンの落下により、ケガの原因になります。
- 電気工事が必要な場合は、お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- 屋内の壁コンセントで2口以上になっても単独で使用せず。100V15A以上のコンセントを確認する。また、他の電気器具の電源プラグは同じコンセントに差し込み使用しない。屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。
- 電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物を載せたり、加熱したり、加工したり、物と物との間にはさんだりしない。電源コードが破損する原因になります。傷んだまま使用すると感電や火災などの原因になります。
- 取付け工事部品は、必ず附属部品及び指定の部品を使用してください。当社指定部品を使用しないと、エアコンの落下、水漏れや感電、火災の原因になります。

警告

- アースをおこなってください。アース工事は電気設備に関する技術基準に従ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
 - ガス管……爆発や引火の危険性があります。
 - 水道管……プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
 - 避雷針・電話のアース線……落雷のときに大電流が流れ危険です。
- ※アース工事は、電気工事士の資格が必要です。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。



注意

- 設置場所によっては漏電ブレーカーの取付けが必要です。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。漏電ブレーカーが取付けられていないと感電の原因になることがあります。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はおこなわないでください。万一ガスが漏れてエアコンの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。
- 工場・海岸・温泉地帯など、特殊な場所で使用しますと、故障のもとになることがあります。
- 雨どいの真下はさけ、吹き下しなどにより窓から雨水が浸入しない場所に取付けてください。室内を汚すことがあります。
- エアコンの室外吹出口からの温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所を選びください。
- エアコンの室外吹出口の近くに物を置きますと機能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- エアコンから、テレビやラジオなどを1.5m以上はなしてください。映像の乱れや、雑音が入ることがあります。
- 本体背面にある水抜ゴム栓は、通常の使用では外さないでください。水漏れします。

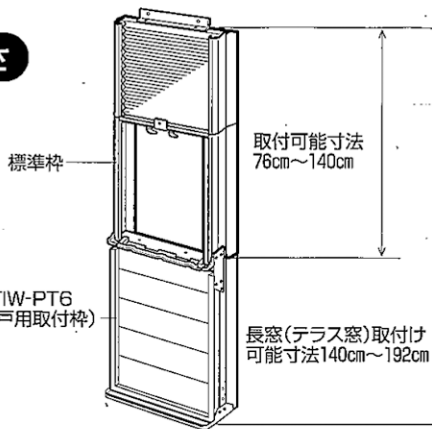
取付け前の確認事項

1 取付け可能な窓の種類と寸法

窓の種類

- アルミ製の窓
- 木製の窓
- 鉄製の窓

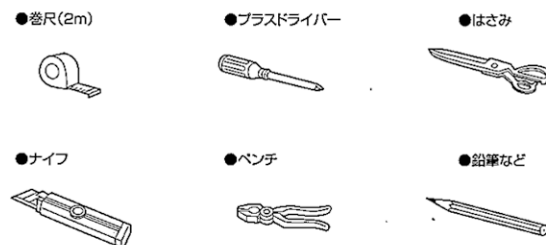
窓の大きさ



●窓の高さが140cm~192cmの場合は、左図の「継定枠」TIW-PT6(「テラス戸用取付け枠」)(別売)と接続してご使用してください。

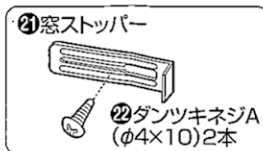
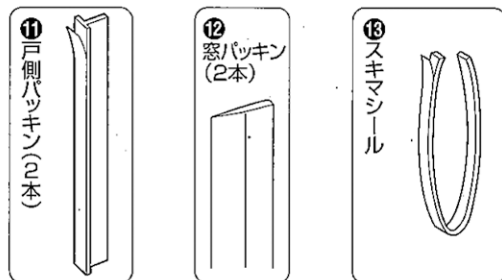
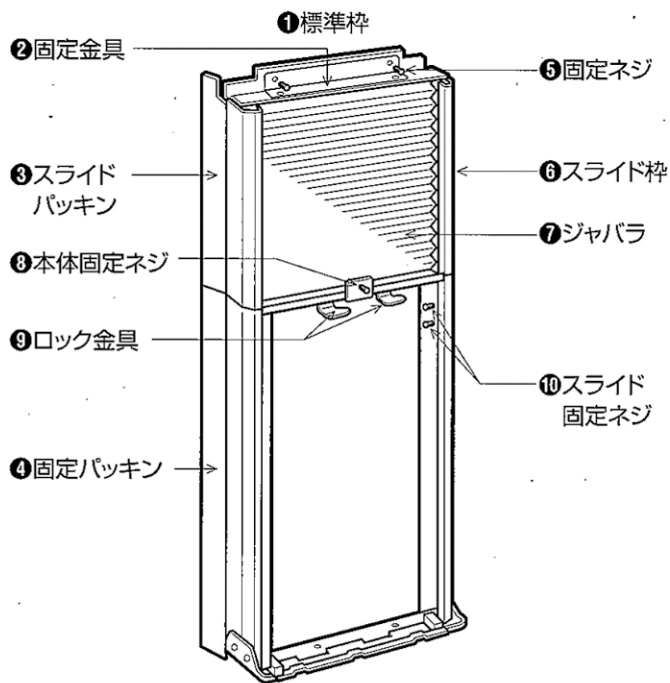
▲警告 取付け可能寸法以上の窓には取付けをしないでください。取付けが不完全となりエアコンの落下により、ケガの原因になります。

2 使用工具(窓によっては、ハンマー、木片、釘が必要です)



4 部品の名称と数量

●お願い 窓の種類などにより使用する部品が異なるため余る場合がありますが、余った部品、取付け工事説明書は移設時などに必要ですので、大切に保管しておいてください。
※窓サッシ固定用の鍵を使用する場合は市販の鍵を購入してください。



補助金具セット	17 ナベタッピンネジ 6本(φ4×8)	18 マルモクネジ 6本(φ4.1×20)	19 ナベドリリングネジ 6本(φ4.2×14)	20 補助金具(2本)
---------	----------------------	-----------------------	--------------------------	-------------

3 電源

警告

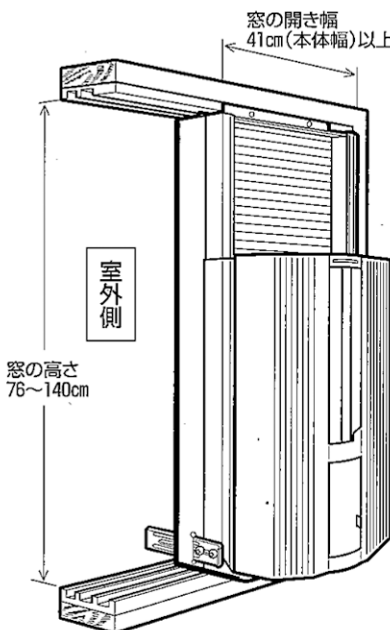
- 電源プラグの改造や電源コードの延長タコ足配線は、絶対にしないでください。感電・火災の原因になります。

注意

- 電源プラグを差し込むときは2~3回抜き差しをおこない、なじませてから完全に差し込んでください。
- 電源コードはゆとりをもたせ、電源プラグに力がかからないようにしてください。
- 電源コードはステップルなどで固定しないでください。

5 組付け完成図

窓の右側、左側のいずれかにも取付けることができます。※イラストはTIW-A18Kです。



ご注意

※補助金具20を使用する場合、取付け可能となる窓の高さは1本では78cm、2本では80cmからの取付けとなります。

標準枠とガラス戸との間にすき間ができてたり、窓の締まりが悪い場合の処理のしかた



標準枠のパッキンやシールは確実にしておこなってください。
不確実な場合は、室内に浸水し、家財等を濡らす原因になります。

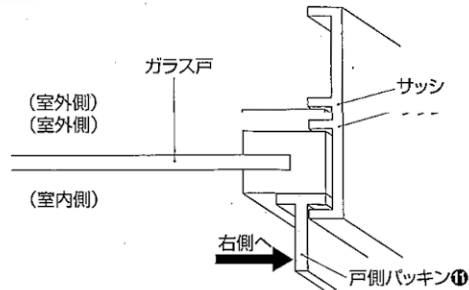
左側取付けの場合など、標準枠①とガラス戸とのすき間が大きく、標準枠①についているパッキンだけではすき間ができる場合には戸側パッキン①をガラス戸の縁に貼り付けてください。
(すき間ができない場合には、この作業は必要ありません)

- 1 ガラス戸と標準枠①についているパッキンとのすき間寸法を測ります。
- 2 戸側パッキン①をすき間寸法プラス5mmの寸法に切断します。
- 3 戸側パッキン①を窓の高さに合わせて切断し、ガラス戸の縁に貼付けます。
- 4 戸側パッキン①の継ぎ目をビニールテープ(市販品)などで目を合わせます。

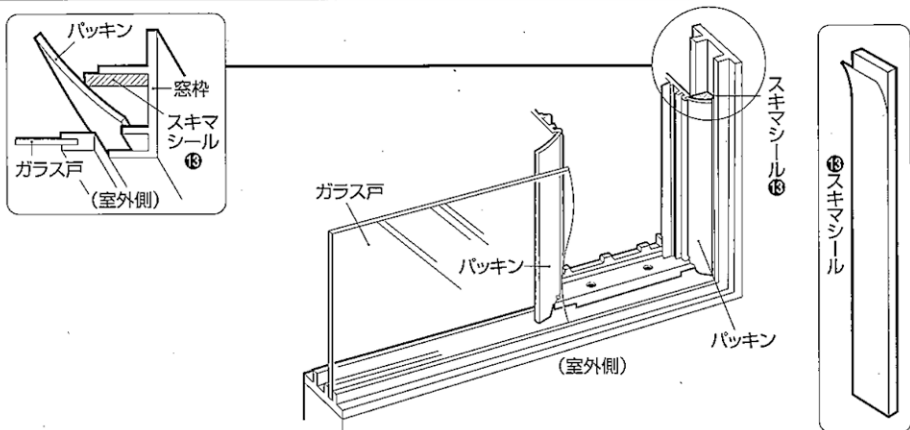
標準枠のパッキンと戸側パッキン①が重なり合い、風や雨水が入らないようにします。

右側取付けの場合、戸側パッキン①はガラス戸が閉まる位置でなるべく右側に貼り付けてください。

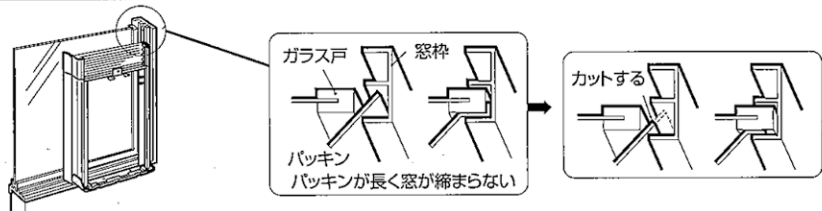
お願い エアコン使用时、ガラス戸や戸側パッキンで室外側の吸込口や吹出口をふさがないように、あくや吹出口をふさがないようにしてください。



窓枠(アルミサッシ等)の種類によって、すき間を生じる場合には、スキマシール⑩を窓枠に貼り付けてください。(すき間ができない場合にはこの作業は必要ありません。)

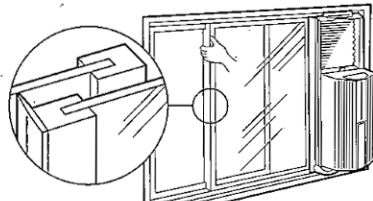


固定パッキン①・スライドパッキン②が長く、窓が締まりにくい(締まらない)場合には、パッキンのシール性を損なわないように注意して、パッキンをカットしてください。



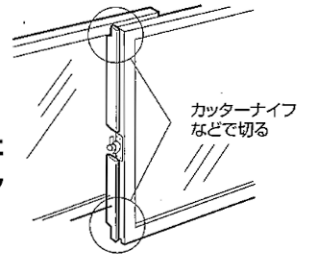
工事の仕上げ

窓パッキン⑫を取付けてください



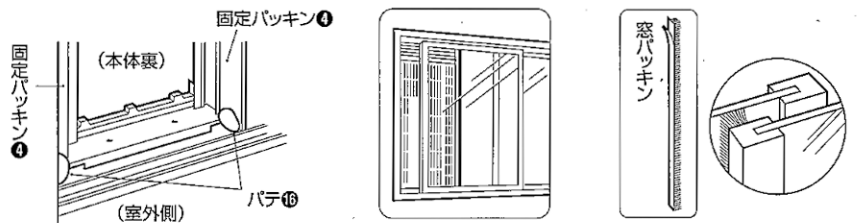
窓パッキン⑫の保護紙をはがしてから、窓枠に貼付け、左右の戸と戸のすき間をふさぎます。

お願い 窓パッキン⑫は、右図のように鍵の部分などを避けて、適当な長さにカッターナイフなどで切断してください。



すき間にパテ⑬を詰めてください

標準枠と窓のコーナー部のすき間から、雨水が浸入しないようにすき間をパテ⑬で詰めてください。



お願い 別売の継ぎ枠(TIW-PT6)を購入したときに、上図の窓パッキンが入っていた場合は、標準枠の窓パッキン⑫で足りない部分に、上図のように窓枠に貼付け左右の戸と戸のすき間をふさいでください。

窓ストッパーの取付け・使い方

1 窓ストッパー⑭の取付け方

窓の「右側取付け(屋内から見て)」の場合は左側に、窓の「左側取付け」の場合には右側に取付けます。

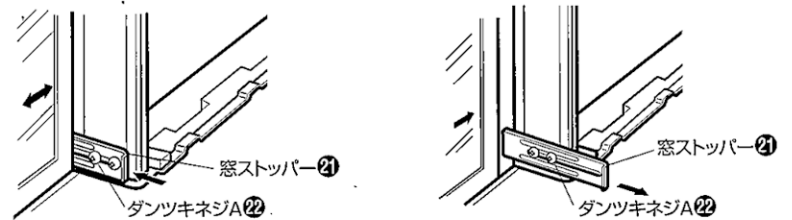
- 1 取付けアングルの固定ネジを取り外します。
- 2 ダンツキネジA⑭で窓ストッパー⑭を取付けし、窓ストッパーを固定パッキン切り込みへ差し込みます。

※窓ストッパーの動きがスムーズでない時は、ダンツキネジAで調整してください。

2 窓ストッパー⑭の使い方

エアコンを運転するとき
①窓を開けてください。
②窓ストッパーを押し出してください。
③窓を窓ストッパーに当たるまで、ゆっくり閉めてください。

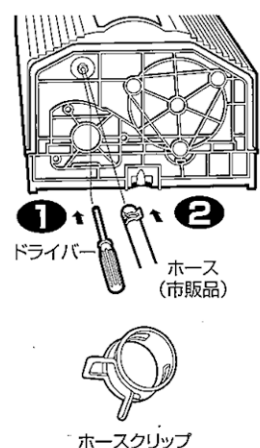
窓を閉めるとき
①運転を停止してください。
②窓ストッパーを引き込んでください。
③窓を閉めてください。
④窓本体の鍵をかけてください。



ドレン水の屋内・屋外排水の仕方

本機は基本的には排水は不要ですが、湿度の高い場所(80%以上)で長時間使用しドレン水が室外側に滴下する場合は、又は排水処理のビチャビチャ音などドレン水の音が気になる場合は、屋内又は屋外排水してください。

屋内排水の場合



★ドレン水排水口のフタを打ち抜いた場合、再度栓をする時はゴム栓が必要となります。このゴム栓は同梱してません。
★時々ホースにゆるみがないか確認してください。室内をぬらすおそれがあります。

- 1 エアコン底面の前側のドレン排水口のフタをドライバー等で打ち抜きます。
- 2 市販のホース内径10mmに市販のホースクリップを挿入します。
- 3 穴に市販のホースを挿入後ラジオペンチを用い市販のホースクリップで抜けないように固定します。
- 4 ドレン水を適当な容器で受けてください。

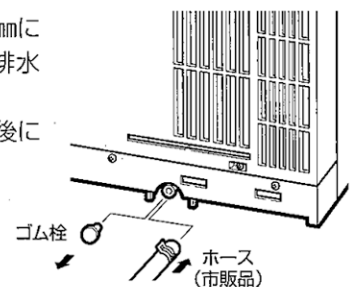


本体背面にある水抜ゴム栓は、通常の使用では外さないでください。水漏れします。



屋外排水の場合

エアコン背面のゴム栓をはずし市販のホース内径10mmに市販のホースクリップで抜けないように固定した後、排水してください。
★窓を閉める際には、たまった水が出たのを確認した後にホースを引き込んでください。
★時々ホースにゆるみがないか確認してください。
★取り外したゴム栓は保管してください。

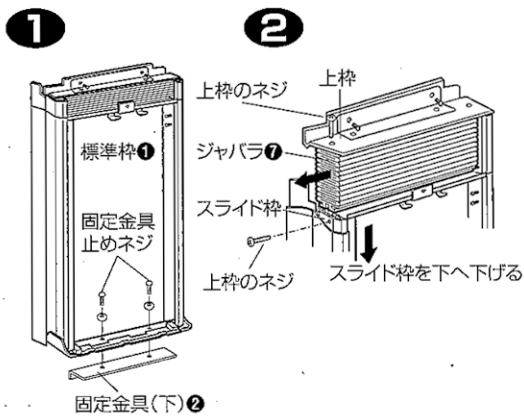


エアコンの取付け

1 標準枠の長さを調整します

●エアコンを取付ける窓の高さ(天地)に応じて枠を調整してください。

- 1 窓の高さが82.5~140cmの場合 は、調節する必要がありません。
- 2 窓の高さが76.0~82.4cmの場合 は、標準枠を一度分解し、ジャバラ⑦を取りはずします。

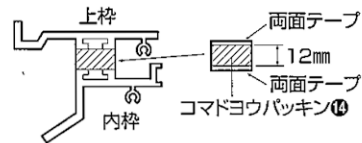


- 1 固定金具止めネジをはずして、固定金具②(下)をはずします。
- 2 上枠のネジ(2本)をはずし、スライド枠を下へ下げてジャバラ⑦を引き出してはずします。

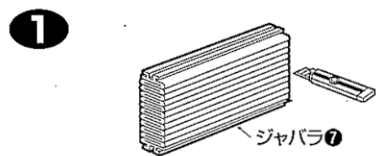
2-1 窓の高さが76.0~77.0cmの場合 は、ジャバラ⑦をはずし、コマドヨウパッキン⑩を上枠と内枠の間に貼って調節してください。

※ジャバラ⑦は使用しません。

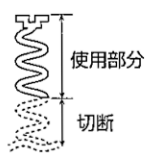
※窓枠を窓に取付けるとき、コマドヨウパッキン⑩を圧縮して窓に入れてください。



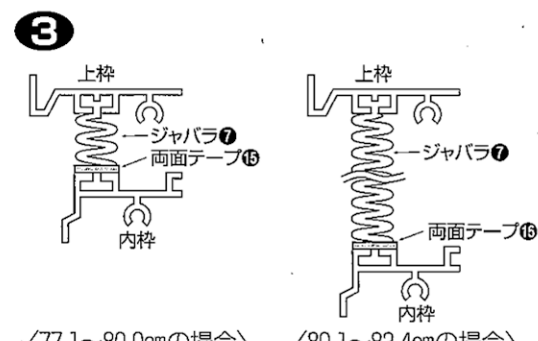
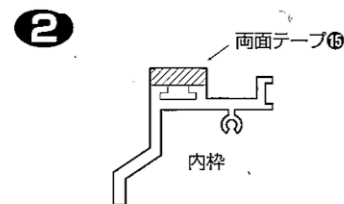
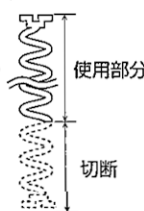
2-2 窓の高さが77.1~82.4cmの場合 は、次の手順でジャバラ⑦を窓の高さに応じて、切断してください。



〈窓の高さが77.1~80.0cmの場合〉
上側3山を残し切断してください。



〈窓の高さが80.1~82.4cmの場合〉
下側3山を切断してください。



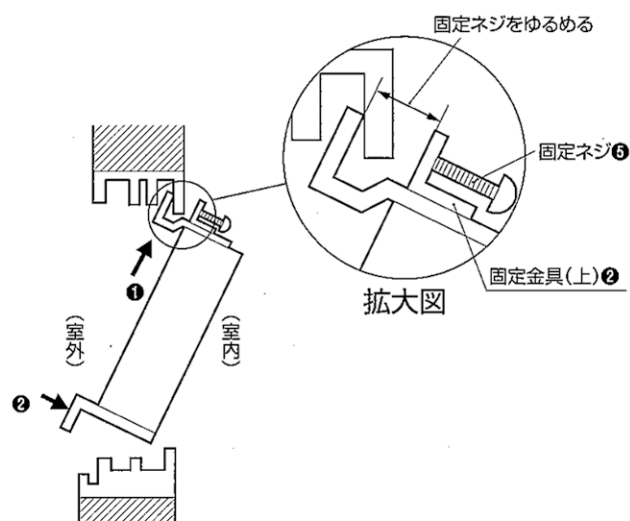
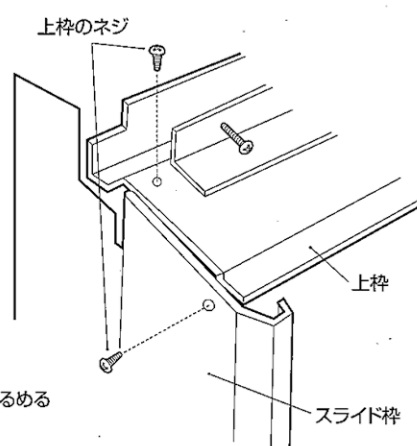
- 1 窓枠の取付け高さに応じてジャバラ⑦を切断します。
- 2 両面テープ⑬を内枠に貼り付けます。
- 3 ①で切断したジャバラ⑦を上枠に入れて、両面テープ⑬に貼り付けてください。

〈77.1~80.0cmの場合〉

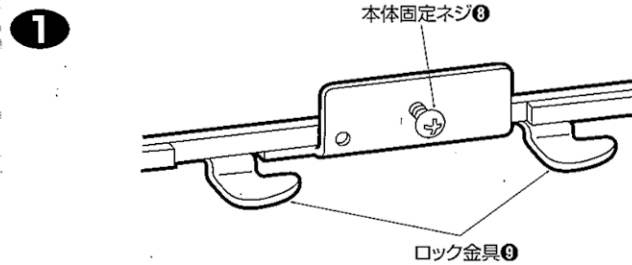
〈80.1~82.4cmの場合〉

3 分解した標準枠を組立てます。
スライド枠を上へ上げて上枠とネジ止めします。

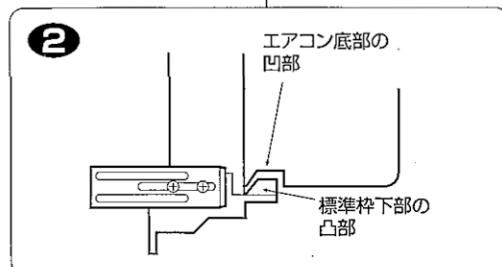
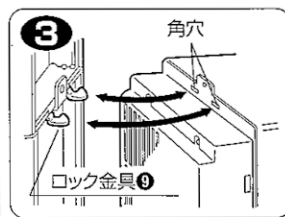
4 固定金具(上)②の固定ネジ⑤を下図の拡大図程度までゆるめ標準枠を下図の手順で窓に据え付けた後、固定金具(下)②を取付けます。



2 エアコンを取り付けます



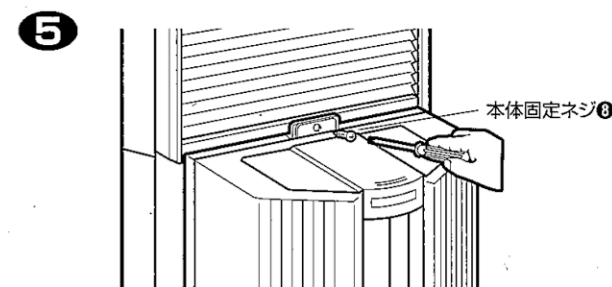
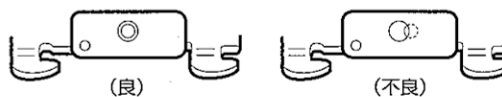
- 1 標準枠①の本体固定ネジ⑧を⊕ドライバーではずします。
- 2 標準枠①下部の凸部にエアコン底面の凹部を乗せます。
- 3 エアコン上部を枠に押しあてて、上部にある2箇所の角穴に、ロック金具⑨の凸部を差込みます。
(カチッと音がしてロック金具⑨が左右に動きます。)
- 4 ロック金具⑨のネジ穴が正しい位置に戻っていることを確認してください。正しい位置にない場合は、エアコンが完全に固定されていないのでもう一度取付けをやり直してください。



警告 ロック金具⑨が完全に締まっていなると、エアコンが落下するおそれがあり大変危険です。

- 5 本体固定ネジ⑧を⊕ドライバーで締めてエアコンとロック金具を固定します。必ず締め付けてください。(ロック金具のはずれを防止します)
- 6 エアコンが完全に固定されているか、必ず確認してください。

4 ロック金具のネジ穴位置の確認



これでエアコンの取付けまで終了しました。

注意 エアコンが前倒れになっていないか確認してください。前倒れになっていると、ドレン水が室内に洩れることがあります。

★エアコンを取りはずす場合は逆の手順(⑤→②)でおこなってください。但しロック金具をはずすときは、エアコンを少し押してからロック金具を左へずらしてはずしてください。

取付け手順〔右側取付け(室内から見ての場合を標準に説明します。左側取付けの場合は裏面を参照してください。)]

※左側取付けにした場合、アルミサッシなどでレールの左角にストッパーがあると、枠とサッシの間に隙間ができることがあります。このストッパーは、はずすことができます。

窓の種類の確認(窓の種類により取付け方が変わります。)

※取付け時のネジ締めは確実にしておこなってください。振動、落下の原因になります。

アルミ製の窓	木製の窓	鉄製の窓(前枠のない窓)	鉄製の窓(前枠のある窓)
<p>立上り寸法 15mm以上の窓 取付け方1を参照</p> <p>15mm未満の窓 取付け方3を参照</p>	<p>窓の形状により 取付け方3を参照</p> <p>又は 取付け方4を参照</p>	<p>幅9mm以上 23mm未満の場合 取付け方2を参照</p> <p>幅9mm未満の場合 取付け方1を参照</p>	<p>取付け方3を参照</p>

取付け方1〔アルミ製の窓、立ち上がり寸法15mm以上の場合〕

取付け方2〔鉄製の窓、前枠のない窓、幅9mm以上23mm未満場合〕

標準枠①を窓に取付けます。

- 標準枠①を窓の立上りにのせます。
- スライド枠⑥を押し上げます。
- スライド固定ネジ⑩(左右各2本)を締めます。
- 標準枠①を柱側に寄せます。
- 固定ネジ⑥(上下各2本)を締め、標準枠①を固定します。

標準枠①を窓に取付けます。

標準 固定金具止めネジと固定ネジ⑤を取りはずして、固定金具②(上)(下)を逆向きに付けかえます。

① 以後は「アルミ製の窓立上り寸法15mm以上の場合」と同じ作業です。**取付け方1**を参照してください。

取付け方3※窓の造りによっては、標準枠が付けられない場合があります。そのようなときは、附属品の補助金具か木片を利用してください。

	アルミ製の窓	木製の窓	鉄製の窓
取付けできない窓の例			
補助金具を使用	<p>補助金具②本を窓の端に寄せて取付けます。</p> <p>●窓の下側に取付けた補助金具と窓枠との間はパテをすり込んで防水をしてください。</p> <p>●窓の下側に取付けた補助金具と窓枠との間はパテをすり込んで防水をしてください。</p> <p>●窓の下側に取付けた補助金具と窓枠との間はパテをすり込んで防水をしてください。</p>	<p>補助金具②本を窓の端に寄せて取付けます。</p> <p>●補助金具は窓の開閉ができる位置に取付けてください。</p> <p>●窓の下側に取付けた補助金具と窓枠との間はパテをすり込んで防水をしてください。</p> <p>●窓の下側に取付けた補助金具と窓枠との間はパテをすり込んで防水をしてください。</p>	<p>補助金具②本を窓の端に寄せて取付けます。</p> <p>※下穴(直径3.3~3.5mm)をドリルであけてください。</p> <p>●窓の開閉が不都合な場合は、端をそろえる</p> <p>●窓の下側に取付けた補助金具と窓枠との間はパテをすり込んで防水をしてください。</p>
木片・釘を使用	<p>木片は本体がはずれない様強固に取付けてください。</p>	<p>右記寸法より大きい窓の場合木片は必要ありません。</p>	

取付け方3 によって補助金具や木片の取付けが終了しましたら、標準枠①を 取付け方1 に従って窓に取付けてください。

取付け方4 木製の窓の取付け部が垂直でない場合

固定金具止めネジ 固定金具(上)②を逆向きにする。

⑤

マルモクネジ⑩またはナベドリリングネジ⑪ リングネジ⑫ ワッシャー

固定金具(下)②を取りはずす。

標準 固定金具止めネジを取りはずし、固定金具②(上)の向きにかえ、固定金具②(下)を取りはずします。

- 取付け方1を参照してください。
- ④
- ⑤ マルモクネジ⑩またはナベドリリングネジ⑪で標準枠①を固定します(上下各2本)。下部の取付けは、マルモクネジ⑩またはナベドリリングネジ⑪に固定金具用ネジから取りはずしたワッシャーをはさみ固定してください。